



少子・高齢社会における質の高い生活の実現に向けて

平成21年度県民意識調査

今、わが国は、少子化と高齢化の急速な進行があいまって、人口構成が大きく変化するとともに、人口が減少に転じています。

こうした変化により、社会の活力が奪われる、労働力が少なくなるなどの懸念も指摘されていますが、県では、少子化に歯止めをかけ、既存の制度やしきみを少子・高齢社会にふさわしいものにしていくことにより、十分に質の高い生活が実現できるよう取り組んでまいります。

今回の調査は、少子・高齢化が県民生活に及ぼす影響や、少子・高齢社会における質の高い生活の実現のために優先すべき取組などについてご意見をお聞きし、22年度からの「新ひょうご子ども未来プラン」の策定をはじめとする今後の県の施策に反映させていこうとするものです。

多くの県民の皆様の中から、あなたを回答者のお一人に選ばせていただきました。お忙しい中、まことに恐縮ですが、ぜひご回答をお願いします。

回答ご記入についてのお願い

ご回答は、必ず**あて名の方が**ご記入くださいますようお願いいたします。
ご記入いただいたアンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れて、恐縮ですが、**10月26日(月)まで**にご返送くださいますようお願いいたします。
この調査は無記名でお願いしておりますので、個人的にご迷惑をおかけすることはありません。
調査結果は、来年2月をめどに、県ホームページ等で公表するとともに、県政の貴重な資料として活用させていただきます。
ご不明な点がありましたら、下記にお問い合わせください。また、点字の調査票を用意いたしますので、必要な場合は下記までご連絡ください。
兵庫県企画県民部知事室広聴室広聴係 TEL 078(362)3021



平成21年10月
いど としぞう
兵庫県知事 井戸 敏三

まず、「少子・高齢社会に対するイメージ」についてお聞きします。

問1 あなたは、理想として、あなた自身に何人くらいの子どもがいるのがよいと思いますか。

- 1 ()人 2 わからない

問2 あなたは「お年寄り」というのは年齢的に見て、何歳以上の人をイメージしますか。次の中から1つ選んで番号に 印をつけて下さい。

- 1 60歳以上 2 65歳以上 3 70歳以上
4 75歳以上 5 80歳以上 6 その他()
7 一概にいえない 8 わからない

問3 あなたは、少子・高齢社会について、どのようなイメージをお持ちですか。次の中から1つ選んで番号に 印をつけて下さい。

- 1 明るい社会である
2 どちらかといえば明るい社会である
3 どちらかといえば暗い社会である
4 暗い社会である
5 どちらとも言えない
6 わからない



問4 あなたは、少子・高齢社会をどのような社会にするべきだと思いますか。あなたのイメージに近いものを、次の中から3つ選んで番号に 印をつけて下さい。

- 1 個人が尊重される社会
2 健康で安心して暮らせる社会
3 弱者に対する思いやりがある社会
4 高齢者が元気に活動する社会
5 子どもから高齢者までの多世代が交流し、助け合う社会
6 経済的な豊かさが感じられる社会
7 満足いく行政サービスが受けられる社会
8 子ども一人ひとりの教育が充実する社会
9 その他

次は「少子・高齢社会におけるライフスタイル」に関する質問です。

問5 少子・高齢社会に向けて、今後あなたは、以下の活動に関してどの程度重視して取り組む予定ですか。あなたに当てはまるものを各項目とも1つずつ選んで番号に 印をつけて下さい。

	重視する	少し重視する	どちらともいえない	あまり重視しない	重視しない
--	------	--------	-----------	----------	-------

- | | | | | | |
|----------------|---|---|---|---|---|
| 1 家事 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 2 仕事(職業) | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 3 地域(コミュニティ)活動 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 4 健康づくり | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 5 趣味 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

問6 あなたが、少子・高齢社会の高齢期における生き方として、特に望ましいと思うものを、この中からいくつでも選んで番号に印をつけて下さい。

- 1 働き続ける
- 2 知識や経験を仕事にいかす
- 3 都合のよい時間にだけ働く
- 4 家事の中心的な担い手として家族を支える
- 5 家族等に家事を分担してもらう
- 6 知識や経験を地域活動やボランティアなどにいかす
- 7 支えを必要とする高齢者の支えとなる
- 8 子育て支援など若い世代の支えとなる
- 9 知識や経験を若い世代に伝えるなど世代間の交流を深める
- 10 国際交流活動への参加
- 11 趣味やスポーツなどを満喫
- 12 友人・仲間との交流を深める
- 13 自然とふれ合いの中で暮らす
- 14 その他
- 15 わからない



次に、「少子・高齢社会に向けた対策」についてお聞きします。

問7 現在、男女とも未婚化・晩婚化が進んでいますが、その原因について、あてはまると思うことを、この中から3つ選んで 印をつけて下さい。

- 1 男女の出会いの機会が少ない
- 2 仕事と家庭の両立に不安がある
- 3 家庭・職場・地域で結婚を後押しする雰囲気弱い
- 4 異性との付き合いに不慣れな者が多い
- 5 経済的に不安がある
- 6 仕事に集中したい
- 7 結婚生活又は家族生活を負担に感じる
- 8 その他 ()

問8 今の子育てを取り巻く環境において、あなたは、何が特に問題であると思いますか。この中から3つ選んで 印をつけて下さい。

- 1 子育てや家事の負担が大きい
- 2 子どもの育て方やしつけ方がわからない
- 3 自分を生かせる時間がとれない
- 4 家族がともに子育てをしてくれない
- 5 子育てに関する悩みや不安を相談できる相手や場所がない
- 6 子育てにお金がかかる
- 7 子育てしやすい労働条件が十分でない
- 8 保育所・幼稚園や児童館などの施設やサービスが十分でない
- 9 親子に対する保健・医療サービスが十分でない
- 10 その他

問8-2 地域で子育てを支援する行政の取組として、特にどのようなものを望みますか。この中から3つ選んで 印をつけて下さい。

- 1 情報提供
- 2 学習会や講座の開催
- 3 子どもが集える場の整備
- 4 相談できる体制の充実
- 5 保育所や幼稚園などの施設やサービスの充実
- 6 子育て中の親が気軽に集える場や機会の提供
- 7 困った時に子どもを見てもらえる地域のシステムづくり
- 8 子育てグループなどを支援する人材や団体の育成
- 9 産科・小児科の医師確保や健康診査・保健指導などの充実
- 10 経済的支援の充実
- 11 その他

問9 「仕事と生活のバランス」を推進するために、特に必要だと思うものを次の中から3つ選んで 印をつけて下さい。

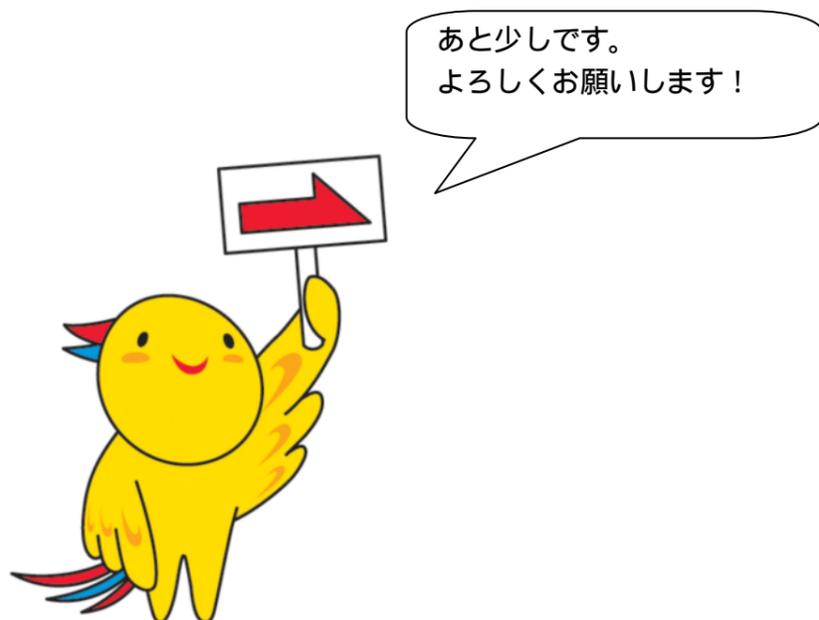
- 1 労働時間の短縮
- 2 育児休暇や介護休暇を取りやすい職場づくり
- 3 職場の仲間づくり
- 4 技能の習得のための研修機会
- 5 自己啓発を進めることのできる職場環境
- 6 正社員の短時間労働制度の導入
- 7 再雇用への支援
- 8 休業中の所得保障
- 9 管理職の意識改革
- 10 事業内保育施設の整備
- 11 地域の保育所や介護制度等の充実
- 12 その他 ()

問10 あなたは、今後の高齢社会対策において、どのような政策に重点を置くことを希望しますか。この中からいくつでも選んで 印をつけて下さい。

- 1 生涯を通じた健康づくり
- 2 高齢者の雇用
- 3 公的年金の充実
- 4 老人医療の確保
- 5 在宅介護の充実
- 6 福祉施設の整備
- 7 寝たきりや認知症の予防対策
- 8 生涯学習など生きがいづくり
- 9 社会参加活動の推進
- 10 高齢者に配慮したバリアフリー住宅の確保
- 11 高齢者が暮らしやすいまちづくり
- 12 高齢者の孤立を防止するための地域の仕組みづくり
- 13 その他 ()
- 14 わからない

問11 少子・高齢化が進むと将来の負担をする世代が減ります。これを踏まえた将来の社会保障制度について、あなたの考え方に近いものを次の中から1つ選んで番号に 印をつけて下さい。

- 1 現在の高齢者の給付水準を維持し、将来の世代の負担を上げる
- 2 高齢者の給付水準を抑制し、将来の世代の負担をできるだけ上げない
- 3 高齢者の給付水準をある程度抑制し、将来の世代の負担をある程度上げる
- 4 その他 ()
- 5 わからない



続いて、以下の設問にお答えください。

問12 あなたが、今の生活をどう思っておられるかお聞きします。あなたの生活は、去年の今頃と比べてどうでしょうか。次の中から1つ選んで番号に 印をつけてください。

- 1 向上している
- 2 同じようなもの
- 3 低下している
- 4 わからない

問13 あなたは、全体として、今の生活にどの程度満足していますか。次の中から1つ選んで番号に 印をつけてください。

- 1 満足
- 2 まあ満足
- 3 どちらともいえない
- 4 やや不満
- 5 不満

問14 あなたは、今の生活の次のような面ではそれぞれどの程度満足していますか。ア～スの項目それぞれで1つ選んで番号に 印をつけてください。

	満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満
--	----	------	-----------	------	----

ア 所得・収入	1	2	3	4	5
イ 貯蓄などの金融資産	1	2	3	4	5
ウ 住居	1	2	3	4	5
エ 車、家具などの耐久消費財	1	2	3	4	5
オ 時間のゆとり	1	2	3	4	5
カ 趣味やレクリエーションへの取組	1	2	3	4	5
キ 地域活動やボランティアへの取組	1	2	3	4	5
ク 仕事の内容	1	2	3	4	5
ケ 家族との関係	1	2	3	4	5
コ 知人や近所の人との関係	1	2	3	4	5
サ 住んでいる地域の住み心地	1	2	3	4	5
シ あなた自身の健康	1	2	3	4	5
ス 家族の健康	1	2	3	4	5

問15 あなたの住んでいる地域で、今後10年くらいの間に大地震が起こると思いますか。次の中から1つ選んで番号に 印をつけてください。

- 1 起こると思う
- 2 起こる可能性は高いと思う
- 3 起こる可能性は低いと思う
- 4 絶対起こらないと思う
- 5 わからない

問16 あなたは県政に関心がありますか。次の中から、あなたのお考えに近いものを1つ選んで番号に 印をつけてください。

- 1 大変関心がある 2 多少関心がある
3 ほとんど関心がない 4 全く関心がない

問17 県の行っている仕事をあげています。それぞれについて、あなたのお考えに近いものを1つずつ選んで番号に 印をつけてください。

よくやっている	まあまあやっている	どちらともいえない	もう少し努力が必要	もっと努力が必要
---------	-----------	-----------	-----------	----------

ア 国際的な交流や協力	1	2	3	4	5
イ 県政の広報・広聴活動	1	2	3	4	5
ウ 県政の合理的運営（行政改革）への努力	1	2	3	4	5
エ 防災対策の充実	1	2	3	4	5
オ 豊かな人間性を育む生涯学習活動への支援	1	2	3	4	5
カ 豊かな感性を培う芸術文化の振興	1	2	3	4	5
キ 自然環境を守り育てる環境対策	1	2	3	4	5
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	1	2	3	4	5
ケ 病気予防や病院などの医療施設の充実	1	2	3	4	5
コ 創造的活力に富む中小企業の育成	1	2	3	4	5
サ 雇用の安定と職業能力の開発	1	2	3	4	5
シ 農林水産業の活性化対策	1	2	3	4	5
ス 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	1	2	3	4	5
セ 良質な住宅の供給	1	2	3	4	5
ソ 個性と能力を伸ばす学校教育の充実	1	2	3	4	5
タ 交通安全・防犯対策	1	2	3	4	5
チ 震災からの復興対策	1	2	3	4	5

最後に、お答えいただいた回答を統計的に分析するため、あなたご自身や家族構成等についてお聞かせください。下記のことについて、あてはまるものに 印をつけてください。

F1 あなたの性別は・・・。

- 1 男性 2 女性

F2 あなたの年齢は・・・。

- 1 20～24歳 2 25～29歳 3 30～34歳 4 35～39歳
5 40～44歳 6 45～49歳 7 50～54歳 8 55～59歳
9 60～64歳 10 65～69歳 11 70～74歳 12 75～79歳
13 80歳以上

F3 あなたのご職業は・・・。(は一つ)

- 1 自営業（農林漁業、商工サービス業、自由業などを含む）
2 会社・団体などの正規社員（職員）
3 会社・団体などの役員
4 契約社員や派遣社員など
5 短時間勤務のパートタイマーやアルバイト
6 専業主婦（主夫）
7 学生
8 無職（専業主婦（主夫）・学生を除く）

F4 あなたが現在お住まいのところの郵便番号は・・・。

（ご不明の場合、当調査票をお届けした封筒に記載の郵便番号をご覧ください）

□	□	□	-	□	□	□	□
---	---	---	---	---	---	---	---

F5 現在お住まいのところには通算で何年になりますか。

- 1 1年未満 2 1～3年未満
3 3～5年未満 4 5～10年未満
5 10～15年未満 6 15～20年未満
7 20年以上

F6 あなたは現在、結婚していらっしゃいますか。

- 1 既婚（配偶者あり）
2 既婚（離別・死別）
3 未婚

F7 あなたの同居のご家族の構成は・・・。

- 1 1人世帯
2 夫婦だけ（1世代）
3 自分（たち）と子ども、または親と自分（たち）（2世代）
4 親と子と孫（3世代）
5 その他（ ）

F8 お宅に次の方はいらっしゃいますか。あなたご自身を含めてあてはまる人をすべてあげてください。

- 1 乳児（1歳未満） 2 幼児（1歳以上～小学校入学前）
3 小学生 4 中学生
5 高校生 6 大学（院）生
7 65歳以上の人 8 あてはまる人はいない

問18 以上の設問について、具体的なご意見がありましたら、ご自由にお書きください。また、その他お気づきの点がありましたら、何でもご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。
同封の返信用封筒でご返送ください。